

2025年東海・北陸地区セミナーin 岐阜の参加者の感想

・通級という1対1のコミュニケーションが指導の基本になる場面で 自閉症の子についての指導でその子のもつあそび(虚構)の世界を入り口にして、 その子が現実世界のルールや人間関係のうまい対処法を学んでいく実践でした。通級から通常級の学級づくりにどうつなげていくことができるかという課題も学ぶことができました。

・岐阜の実行委員会の方々ありがとうございました。愛知 平野博通

・「伝統」という言葉を、どのような文脈で使うのか考えてみる必要があるかと思いました。遺徳の授業で地域の伝統文化ということでそれを受け継いでいかななくてはならないという結論ありきで扱くと、権威の押しつけとなるが、自分が 地域でかかわっている伝統芸能の「棒の手」は、それ自体戦国時代から続く「伝統」であるが、それも固定されたものやなく、時代とともに変化しつつあるし、伝統を継承するためには、地域の共同、人々の集団づくりがかかわっています。そういう部分を含みこんだ「伝統」を学校で考えていくべきだと思います。

・笠原先生の講座で1980年代以降の学校の様子と教育政策が、自分の教師体験と重なっておもしろかった。翔太とのかかわりも自然体で学びつつ実践し、実跡して学ぶメッセージが伝わってきました。

・中学校分科会では岐阜の若手実践家の、諸問題に丁寧にとりくむ姿勢に、好感がもてました。中3の子どもとの対話には、学ぶべきものがありました。自閉傾向の子の困り感をどうクラスにひらいていくか考えることができとても有意義でした。 愛知 平野博通

・子どもの好きなことを知り、やりたいことを保障する大切さ、子どもの世界に迫ることの大切さと難しさを改めて感じることができました。また私自身の反省にもなり、こうしてみようかなと思うことが増えました。ありがとうございました。

・開会行事の動画おもしろかったです(人が出ないことも含め)知らないことがいっぱいでした。

・伝統は勝手な思いこみをしていたので歴史背景を教えていただけてよかったです。これから伝統という言葉を使うときに立ち止まって考えたいと思います。

・本人が語り出したくなるまで待つ。子どもの意見表明権を保障する。

自分ができているだろうか考えるきっかけになりました。

やはり子どもと語ることが大切だなと実感しました。

ありがとうございました。 石川 楠本雅美

赤木先生の実践を読み、楽しそうな実践にワクワクしました。

私は子どもにもめ事は大切だと思うので、見守ってみてほしいです。

他の通級の先生にも広めたい実践でした。 岐阜 江崎文映

サクラ・サク・・・とてもステキな実践でしたが、笠原さんでも迷うんだ!! 中学校の実践は1年では変化までいくことが難しいんだ!!というそちらの方に勇気づけられました。

②低学年・……K先生がいたり、持ち時間数が多い中でも橋本先生がタイガの気持ちを理解しようとしている所に頑張っているなあと思いました。

私はタイガの母の苦さのようなものが伝わってきて苦しかったです。みんなでタイガの見方を共有できたと思うのにK先生のように攻撃されたら本当に苦しいですね。

・足立さんの話を聞いて、「伝統」というと、変えられないのかなあ…とあきらめひるむ自分がいまいましたが「分かりました！！」じゃあ、どうやって変えようかなあと、考えていけば良い(すぐには変わりませんが)のだと思いました。虚構であるものに形はないと思うと前向きになれると思います。『合唱』・・・全員が歌う。美しい歌、列に並んで、伴奏はピアノ。合唱は伝統だけど中身は決まっていますよね。 岐阜 江崎文映

・今回、初めて参加をさせていただきました。知らないことが多くあったので学ぶことができました。「伝統」について当たり前のように受けてきたことも様々な意味がこめられていたことも知ることができました。

・笠原先生の指導の方法を知ることができ、昭和・平成の教育の流れを学ぶことができ「教師」のあり方や必要性を知ることができました。

分科会では、現場の先生方のすごさを知ることができました。実際の学校現場に行った時にどのように対応すべきか、子どもに合った指導法を見つけて対応していくべきであると学ぶことができました。どれも貴重な話でした。また議論できるように知識を増していきたいと思いました。

・ありがとうございました。特技のこと、(ゲームなど)はとてもおもしろいなと感じました。

子どもと子どもをつなぐ、ルールを子ども同士で考えさせることの大切さを改めて感じました。

・2日間とても充実した時間になり、これもやりたい、あれもやりたいということばかりでした。2日間本当にありがとうございました。

・私はいくつもの学校へ行っていますが、伝統という言葉を目にするところがありました。「この学校の伝統なんさ」です。今年戦後80年ですが、今の日本はまた戦争へと向かっているのか?と思ってしまう内容でした。とても勉強になりました。

・子どもの居場所を学校に作るものの大切さを改めて知りました。「笠原さんの実践は子どもに体当たりで向き合っているなと感じました。私も笠原さんのように子どもに体当たりで向き合っていきます。

・分科会では、荒井さんのレポートをもとに子どもと子どもをつなぐ大切さを学びました。

班活動を重要性、班4~5人だと班長はその子たちを見る(観察)ようになるということで自分もこれから取り入れてみたいと思います。 三重 麻生 瑞樹

今日の講座に参加して一番感じたことは、教員になるという気持ちがより強くなりました。子どもたちのために自分に何が出来るのか、何が自分にとって最大の強みなのか、考え続けることが今の自分にはまだまだ不足しています。加えて現場での経験が多いベテランの先生とも同じステージに立って働いていくわけで、力の差を見せつけられることもあるかもしれない。実際に分かれて話

し合いをしたが、出てくるアイデアの数々は目からウロコだった。先生たちは文章を見ただけでどの様なシチュエーションなのかがパッと浮かんでくる力を自分も出来るように視野を広く持ちどんな情報でも拾えるようにアンテナを張りめぐらせたい。 岐阜 汲田晃佑

・日々の生活の中で、「伝統」について、考えさせられたり、聞かれたりすることがよくあり、基礎的なことを教えていただき、よかった。

・久しぶりに、昔の校内暴力等の話を聞いて、たいへんだったがなつかしいと思った。

今は、ハラスメント（クレーマー）等、教員も子どもも、保護者もカリカリしているように思う。

・改善策をいろいろ考えて話し合うことができてよかった。 岐阜 渡辺智子

今日の全体分析では通級の子にゲームのストーリー性を使ってやらせるだけではなくて、自分からやり始めるスタイルは、子どもたちの考える力の向上にもつながるし、出来た、頑張ったなどの成長体験、成功体験から引き出す力を示してあげることが自分もやってみたい。

でも、主体は子どもたちなので、自分があまり首をつっこまないようにしたいし、気を付けないといけないなと思いました。